

森の…

いちばん!! 「不思議な蝶」

那須平成の森には、たくさんの生き物が生息しています。中でも昆虫はとて多く、2,906 種もの昆虫が確認されています。今回は、この夏からよく観察できるようになる「アサギマダラ」というチョウについてご紹介します！

アサギマダラは、6 月頃に台湾などの南方から那須平成の森にやってくる大型のチョウで、鮮やかな青色がとても特徴的。初めて姿を目にした時「この体色には何か意味があるのでは？」と思うほど、目立つ色をしています。調べてみると、昆虫にとって大事な理由があることが分かりました。



実は、アサギマダラは「毒チョウ」として知られています。幼虫の頃から毒草であるキショランやイケマを食べ体には毒（アルカロイド系）を蓄えています。鮮やかな色彩は、周りに毒があるぞと知らせるための「警告色（けいこくしょく）」と呼ばれるもの。飛翔する姿は優雅で、風に乗るようにふわふわと飛んだり、人が近づいても逃げることがありません。そのため、間近で観察できる数少ないチョウです。しかし、実際にはその体に蓄えた毒が天敵に対して効果があるのかは、わかっていないそうです。なぜ毒を纏っているのか分からない、不思議なチョウが舞う那須平成の森に来てみてはいかがでしょうか？（西垣）



那須平成の森「フォレストカフェ」

那須平成の森では、来園されたお客様に館内でリラックスしていただいたり、館内展示を観覧して那須の自然に興味を持っていただきたい、という思いから、地元の珈琲屋さんに出店して頂いています。

現在出店しているのは 4 店舗。このコーナーでは、出店して頂いているカフェさんをご紹介！トップバッターは「那須コーヒー PALKI」さんです！

「那須コーヒー PALKI」ってどんなお店？

那須地域にて出店している自家焙煎のコーヒー店です。2023 年夏より、自宅に焙煎所兼コーヒースタンドをオープンし、地域の方に焼き立てのコーヒー豆を提供、販売しています。生産地の個性的な味わいを楽しめるストレートや、オリジナルブレンドのコーヒーをご用意しています。



店主 大瀧 剛さんより一言！

那須高原の小さな焙煎小屋で、日々コーヒーを焼いています。那須を訪れた方に、豊かな森のなかでリラックスしながらコーヒーを飲んでいただきたいと思います。

「那須平成の森」さんでは、2018 年より毎年、お客様にコーヒーを提供させていただいています。純粋に自然を楽しめる国立公園だからこそ、感覚が研ぎ澄まされ、コーヒーの香りや味わいを楽しんでいただけたらと思います。これからも宜しくお願い致します。



森ことば



今回の
お題

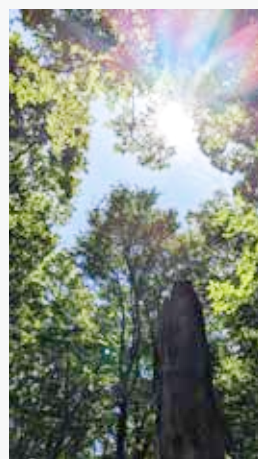
世の中にあふれている様々な言葉（偉人の言葉、名著や作品のフレーズ、流行語、ことわざや四字熟語など…）の中から毎号一つを取り上げ、インタープリターが那須平成の森の自然から、お題の言葉を受けて感じたものを探し、写真で語るコーナーです。

三步進んで二歩下がる

生きていると、前に進むときもあれば下がることもある。しかし、着実に 1 歩進むことができる。という意味の言葉。

森で巨木の葉が空を覆ってしまうと、足元の木の赤ちゃん達は光を浴びることができません。しかし、那須の強風が巨木をなぎ倒すと、地面にまで光が差し、木の赤ちゃん達は光を浴びてぐんぐん伸び始めます！

一見巨木を失い後退したように見えても、その実次に進むための準備が整っているようです。（檜山）



終齢幼虫から様子を見続け、先日無事に羽化したウラキンシジミ。これから、天敵に食べられるのか、無事に子孫を残せるのか…。そもそもこうして無事に成虫になれるのも一握りでしょう。

種全体としての命のバトンは、まさに『三步進んで二歩下がる』という風に繋がれているように思います。（植村）



美味しそうな野イチゴ食べてみた。スポンジ状で美味しくない。名前は分かったヘビイチゴ！調べてみるとヘビは食べないらしい…。

名前が分かった喜びは大きい調べれば調べるほど分からないが増えていく…。ああ、三步進んで二歩下がる。（大沢）



自然の中には、人生にも例えられるような事がたくさんあるのナスねえ…。

インタープリターによって、昆虫や樹木、植物から様々な生きものの生き様を感じられるのも、とても良いナス！

